中部中国ブロック 呉青年部 令和3・4年度の取り組み

~ はじめに ~

私たち呉青年部は、今までのような集合活動が難しいコロナ禍だからこそ、会員との交流を 絶やすことなく行っていきたいという思いで活動を進めてきました。

これまで集合型で当たり前に行ってきた行事もオンライン開催で継続し、支部長をはじめ 親支部の先生方にご協力いただきながら実施してきましたので報告いたします。

【新年互礼会·総会】

毎年、今日庵呉道場に集まり、支部長、副支部長や幹事長をはじめとする育成委員の先生方に ご臨席いただき開催してきました。

コロナ禍により、集合型での開催は難しいと判断し、オンラインやハイブリッド形式にて 実施しました。

<令和3年度>

支部長や副支部長、幹事長をはじめとする育成委員の先生方に ご臨席をいただき、今日庵呉道場から配信するZoomオンライン を活用したハイブリッド形式にて開催しました。 オンラインを活用することにより、他県や海外という遠方在住の

会員の参加することができたことが大変良かったと嬉しく思います。







<令和4年度>

令和3年度と同様に道場からのハイブリッド形式での開催を計画していましたが、感染者増加による 緊急事態宣言の発令もあり、完全オンラインにて行いました。

当日、支部長のご参加が叶わなかったため、事前に支部長のご挨拶を撮影させていただいたものを新年互礼会にて共有配信しました。

育成委員の先生である幹事長と副幹事長にもオンラインにてご臨席いただくことができました。



	0.000000	他の特	M44.1001 + 7.009	THE R. P. LEWIS CO., LANSING MICH.
١.	COLUMN TO SECTION	- Park Poul	Service interest	
				BARRIOTE STOR STOR
	1000			SELECTION STATES
	100 0 100 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		77.00	*511.03.00 Suc
		0.000-0.000-0.000		Constitution .
+	- HOUSE HALL	- FINANCE		READ CENTER BOOK
			1200000	
		CONTRACTOR	17-17 (amount)	
18	MARKET BELLEVILLE			ROOM TANK BUSE
	1000 HOLD			Children more
	Maril And Maril And		10000	
(1	And the second second	Market Transpare	1900	10 A
42			CALLENON CO.	EL TOTAL

【ちょい寄ってKUREサロン】

オンライン会議ソフト「Zoom」を利用し、コロナ禍でも会員さんに

会いたい!、お顔を見ながらお茶とお菓子でほっこりしたい!、 気軽に顔を見せてほしい!という思いで、短時間の茶話会を 不定期で開催しています。

『ちょい寄ってKUREサロン』というネーミングも、 気軽にちょい寄って〜という思いから生まれました! 不定期開催ですが、委員長からの連絡や呉青年部会員の LINEグループで開催日や時間を連絡することで会員の参加もあり、 近況報告や世間話をするなど、会員との交流を行っています。



【呉みなと祭茶会】

毎年4月29日に開催されている「呉みなと祭」に参加し、市民の皆様を対象に茶会を開催していましたが、祭りの中止により茶会の開催はできませんでした。

しかし、長年継続してきた行事をこれからも続けていきたいという思いから、コロナ発生直後の令和2年度は会員それぞれが呉みなと祭茶会を想い、一服の写真投稿を行いました。 令和3年度、4年度も祭りの中止や規模縮小により茶会の開催ができなかったため、

呉みなと祭茶会を忘れず、これからも継続していきたいという思いで代替え企画を行いました。

<令和3年度>

交流委員会が中心となって2つの企画を立案し、実施しました。

○第一弾! ~離れても繋がるみなとへの思い、みんなの一碗~(4/15~4/29)

青年部会員のLINEグループで写真投稿を 行いました。

テーマを

『私のお気に入りの飲み物 または お菓子』 として、皆のお気に入りを楽しみながら 交流しました。









〇第二弾! ~交流会~(4月29日)

茶会が開催される予定だった4月29日当日に、オンラインでできる出席者全員参加型のクイズやゲーム大会を実施し、終わりにはお茶をいただきながら交流を持つことができました。ネット回線を通して会員と話をしたり、ゲームをしたりと久しぶりに親睦を深めることができたと大変好評でした!









<令和4年度>

令和3年度と同様に、LINEグループでの写真投稿を行いました。 写真投稿の最終日には、『ちょい寄ってKUREサロン』を実施し、 投稿者に抽選で賞品が当たる抽選会を実施しました。















投稿された写真(一部抜粋)



長年、同じ場所で同じ日に継続開催しているため、市民の皆様も楽しみにしてくださっており、 支部の先生や卒業生も多数お越しくださり、現役会員との交流の場にもなっています。 オンラインでの代替え企画を通して、呉みなと祭茶会のことを忘れず、 継続する意識を共有できたことが良かったと感じます。

【禅の勉強会】

2年に一度の開催で、一華寺にて守屋佑光和尚より禅にまつわる話をいただいていました。

<令和3年度>

ハイブリッド形式での開催を予定しておりましたが、感染者増加により

Zoomを利用した完全オンラインにて開催しました。

守屋佑光和尚には禅のお話しだけでなく、お寺の様子を中継いただき、現地にいるような時間を 共有することができました。

例年通り、育成委員や社中の師の先生方や卒業生にもご案内し、先生方や卒業生にもご参加いただけたことはなかなかお会いできない状況の中で、大変充実した時間となりました。 行事後には、Googleフォームを活用し、アンケートの実施も行いました。

慣れない方もおられたようでしたが、新しいことを楽しみながらご参加頂けたようでした。











【卒業式】

例年、卒業生の意向に合わせて食事会や茶会を行い、卒業生を送っていましたが、コロナ禍により 集合型での卒業式が難しいため、令和3年度は二部制にて開催しました。 令和4年度は感染対策を行い、集合型での卒業式開催を予定しています。

<u>く令和3年度></u>

○第一部

今日庵呉道場 大掃除の前に、卒業式第一部を行い、記念品贈呈と 卒業生への一客一亭での呈茶にて、卒業のお祝いを行いました。 短い時間ではありましたが、卒業生と時間をともにできたことが 大変嬉しいとともに、コロナ禍での集合型活動の第一歩ともなりました。



〇第一部

第一部と同日の夜、Zoomを利用したオンライン形式にて卒業式を実施。 都合により遠方在住でなかなか活動に参加できなかった卒業生にも

参加いただくことができました。

オンラインでできる卒業生クイズや 事前に送付していたお菓子での呈茶や 青年部の思い出動画を共有配信し、 今、できる形での卒業式で

卒業のお祝いをすることができました。





<令和4年度>

感染対策を行い、集合型での卒業式を開催する予定としています。

【ちょい詠んで『大・川柳大会』】

なかなか会えない状況が続く中、会員さんとの楽しい時間を共有できれば!と 企画した"ちょい詠んで『大・川柳大会』"!! 会員だけでなく、親支部役員の先生方、社中の先生方、学校茶道の生徒さんにも募集要項を送りました。

青年部会員は、返信はがきや青年部会員のグループライン、Googleフォームより応募可能としました。

先生方にも、返信はがきや青年部のメールで 応募していただきました。

会員はもちろん、先生方からも応募があり、 添えられたメッセージからも、先生方の 青年部への愛情を感じることができました。



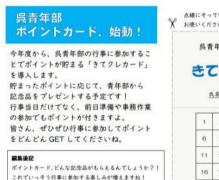
青年部の広報紙「つばき 川柳特別号」を発行。応募いただいた川柳やメッセージを掲載し、 参加できた方もできなかった方も、楽しかったという声をいただきました。

【呉青年部 ポイントカード「きてクレカード」】

もっと青年部活動に参加してほしい!と 令和4年度から、行事に参加することで ポイントが貯まる「きてクレカード」を 導入しました。

1年間で貯まったポイントに応じて、 記念品を贈呈する予定です。

行事に参加して、ポイントが増えることを 楽しみにしているという声も耳にするため、 参加率アップの一助となっています。





【呉青年部 10周年記念企画!! ★交趾絵付体験★】

2020年(令和2年)、呉青年部は70周年を迎えました。また、令和4年度は新体制移行に伴い呉青年部となって、10周年という大きな節目の年でもあります。10周年記念行事として、10月16日(日)に 翠嵐工房の中村正史先生をお迎えし、オンラインでご講演と交趾焼の銘々皿への色付け体験をご指導いただく行事を企画しました。

講師をお迎えして行うオンライン企画は、 ハイブリッド形式にて開催し、ご自宅からでも 参加しやすい形を目指しました。 申し込みはGoogleフォームを活用し、 コロナ禍で培った新しい形を取り入れています。 たくさんの方をお迎えして行う周年行事でなくても



今の時代の中で新しいことを楽しみながら、良い行事となるよう進めていきたいと思います。

~ おわりに ~

コロナ禍だから何もできないではなく、コロナ禍を受け入れ 感染状況に応じて開催形態を変化させながら新しいことにチャレンジし活動してきました。 会えなくても会員が青年部から離れていかないよう、また、支部の先生方やOBの先輩方とも繋がっていたいという一心でこの状況下でできることを模索して参りました。 今後、集合型の行事をできる状況となっても、withコロナで対策をしながら、この二年間で培った新しいことに挑戦するという前向きな気持ちと行動力で充実した青年部活動に取り組んでいきたいと思っています。